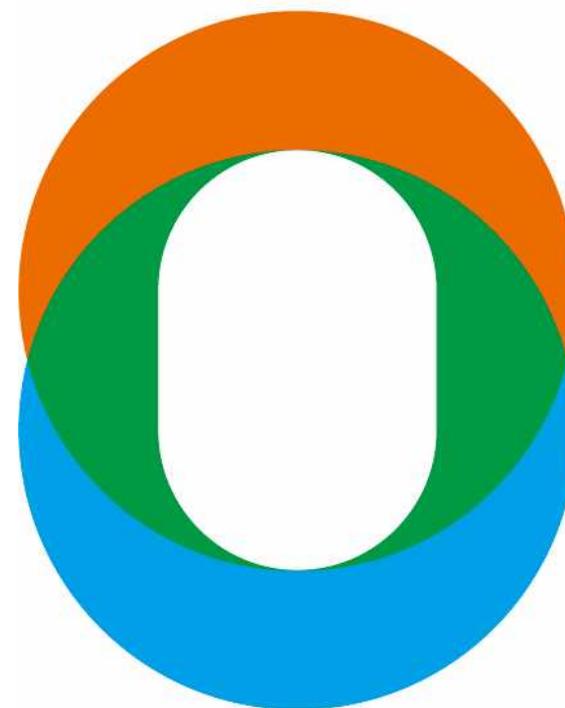


令和5年度第1回
世界に誇れる
環境先進都市
かめおか協議会

令和5年4月27日（木）

ともに生きる



プラごみゼロ

令和4年度の取組

- (仮称)環境政策情報発信・交流拠点施設整備事業
- かめおか保津川エコツアー等支援事業
- 企業・団体等とのパートナーシップ連携等
- 亀岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定

(仮称)環境政策情報発信・交流拠点施設整備事業

■設置目的

『世界に誇れる環境先進都市』を実現するため、「海洋汚染問題に立ち上がる意識のつながりを呼びかける」ことや、「世界最先端の『環境先進都市・亀岡市』のブランド力向上」を目指し、各種施策を広く発信するとともに、「環境」の下に多くの人々が集い、交流し、つながることで「環境先進都市・亀岡市」が世界に広がることを目的に拠点施設を整備します。



- R 3. 7 ワークショップ
- 8 基本構想策定
- 10 クラウドファンディング
- R 4. 1 設計事業者公募
- 2 審査
- 3 設計事業者決定
- R 5. 1 既存建物除去

※ イメージ(公募プロポーザル審査時提出資料)

かめおか保津川エコツアー一等支援事業

■事業概要

使い捨てプラスチックに係るポイ捨てごみの削減及び景観保全のために、保津川における河川ごみの漂着実態を身近に体感できるエコツアー一等を企画・運営する事業者へ、その経費を補助。

■対象者：保津川遊船企業組合

①「保津川下り」

合計175名（大人175名、子ども0名）



②「ラフティング」

合計44名（大人35名、子ども9名）



企業・団体等とのパートナーシップ連携等



かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

株式会社斗々屋は、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

【株式会社斗々屋のSDGsに向けた取組】

- ごみや無駄のない社会に向けたゼロウェイストな取組の実践
- 量り売りビジネスの普及拡大
- 多業種の企業および行政と連携したサーキュラーエコノミーの構築
- ゼロウェイストのポップアップの定期開催を通じた、市民のゼロウェイストに関する関心・認知の拡大

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- エシカル消費の拡大やごみを出さない暮らしの普及に向けた啓発活動の実施
- 亀岡市内における量り売りビジネスの展開に向けた協力支援
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現



令和4年5月13日

株式会社斗々屋
代表取締役社長

梅田 温子

亀岡市長

桂川 孝裕



株式会社斗々屋

・令和4年5月13日 協定締結

【株式会社斗々屋のSDGsに向けた取組】

- ごみや無駄のない社会に向けたゼロウェイストな取組の実践
- 量り売りビジネスの普及拡大
- 多業種の企業および行政と連携したサーキュラーエコノミーの構築
- ゼロウェイストのポップアップの定期開催を通じた、市民のゼロウェイストに関する関心・認知の拡大

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- エシカル消費の拡大やごみを出さない暮らしの普及に向けた啓発活動の実施
- 亀岡市内における量り売りビジネスの展開に向けた協力支援
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

企業・団体等とのパートナーシップ連携等



かめおか未来づくり 環境パートナーシップ協定



亀岡市と亀岡市議会は、2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言により、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを目指すとともに、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指します。

このまちの未来づくりに向けては、持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもとに、多くの事業者とパートナーとして提携を進め、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組む必要があります。

株式会社e-commiは、この主旨に賛同し、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めます。

【株式会社e-commiが進めるSDGsに向けた取組や行動】

- もったいない物（リユース品）を再利用するための回収など、資源循環の仕組みづくりと効果の可視化・データ化
- リユース・リサイクル出来る物の回収能力強化によるごみの減量化
- 自治体、企業と連携したサーキュラーエコノミーの構築への貢献

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- 平成30年3月策定の「亀岡市ゼロエミッション計画」に基づく、人と環境にやさしい資源循環型のまちづくりの推進
- リユースをはじめとする、ごみを発生させない資源循環システムの構築
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取り組みの横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現



令和4年8月17日

株式会社e-commi

CEO

川野 輝之

亀岡市長

桂川 孝裕



株式会社e-commi

・令和4年8月17日 協定締結

【株式会社e-commiのSDGsに向けた取組】

- もったいない物（リユース品）を再利用するための回収など、資源循環の仕組みづくりと効果の可視化・データ化
- リユース・リサイクル出来る物の回収能力強化によるごみの減量化
- 自治体、企業と連携したサーキュラーエコノミーの構築への貢献

【亀岡市のSDGsに向けた取組】

- 平成30年3月策定の「亀岡市ゼロエミッション計画」に基づく、人と環境にやさしい資源循環型のまちづくりの推進
- リユースをはじめとする、ごみを発生させない資源循環システムの構築
- かめおか未来づくりプラットフォームの形成による、事業者間の情報共有と新たな関係の構築
- 各企業、団体及び自治体等と連携した取り組みの横展開や情報発信力の強化
- かめおか未来づくりパートナー提携事業者とともに進める「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の実現

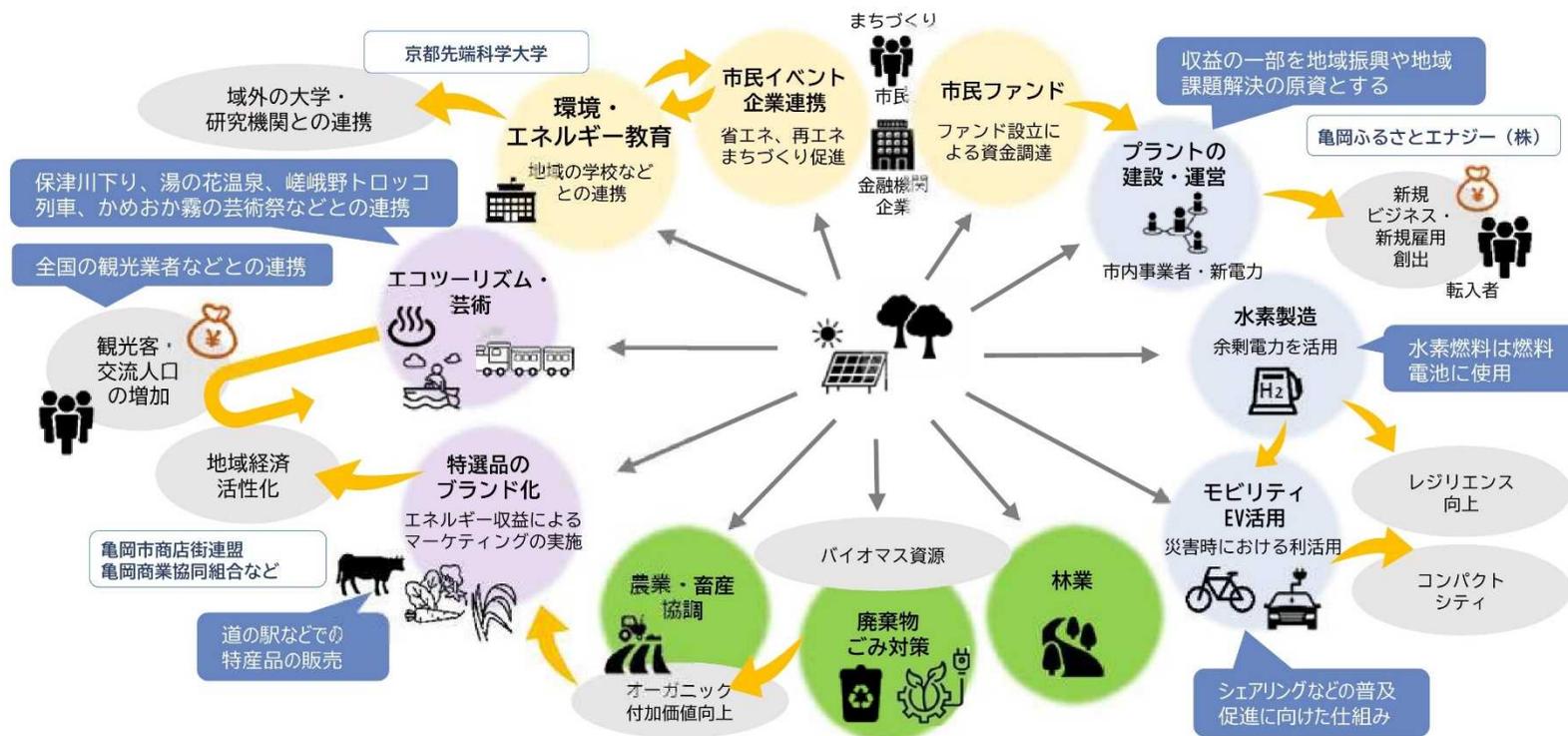
かめおか脱炭素 未来プラン（令和5年2月策定）

本計画は「かめおか脱炭素宣言」に基づく2050年カーボンニュートラル実現に向けて、温室効果ガスの削減目標と再生可能エネルギーの導入目標を設定し、その目標を達成するための施策を示すものです。

- 計画期間 | 令和5(2023)年度～令和13(2031)年度
- 温室効果ガス削減目標 | 令和12(2030)年度 ≪中期≫ … 基準年度(2013)比50%削減
令和32(2050)年度 ≪長期≫ … 脱炭素化の実現（温室効果ガス排出量実質ゼロ）

将来像「経済循環型ゼロカーボン亀岡」

恵まれた地域資源を活用した市域の脱炭素化、そして地域循環共生圏の発展と亀岡ブランドの向上を目指します。



令和5年度の取組

- (仮称)環境政策情報発信・交流拠点施設整備事業
- 企業・団体等とのパートナーシップ連携等
- 情報発信事業
- ごみの分別拡大

(仮称)環境政策情報発信・交流拠点施設整備事業

【予定】

R5. 9 ~ R6. 3 新築工事



情報発信事業

- アースデイ in 京都 2023(2023年4月22日)
- オーガニックライフスタイルEXPO(2023年9月14日～16日)
- エコプロ2023(2023年12月6日～8日)
- DO YOU KYOTO?(未定)

ごみの分別拡大

将来世代に負担をかけない循環型社会の実現に向けた次なる一步として、令和5年4月1日より「家庭ごみの分別区分拡大」を実施。

